

学校評価(共通項目)評価書

朝霞市立朝霞第四中学校

柱	No	評価項目	自己評価	自己評価の説明及び学校の考え	関係者評価	学校関係者評価者の説明
学校の組織運営	1	学校は、学校教育目標達成に向けて、全教職員で組織的に取り組んでいる。	B	・目指す学校像の実現に向けて、全教職員がそれぞれの経験や能力を生かしながら、組織的に教育活動に取り組むことができた。 ・教職員間のコミュニケーションや情報共有をさらに積極的に行っていきたい。	B	・生徒は目標に向かって成長していると感じる。職員評価の「C」が数名いるようなのでそのあたりが気になった。 ・多様な価値観の家庭が混在し、多様性が尊重される世の中で、学校教育目標の達成は年々ハードルが高くなっている。地道に取り組むほか思いつかない。
	2	学校は、安全・安心に配慮し、危機管理体制を整えている。 (※いじめの未然防止と早期発見、再発防止等の組織的な対応を含む)	B	・早期の発見と対応に努め、組織的な相談体制を整備し、外部機関との連携もとることができた。 ・定期的に安全点検や危険箇所を把握し、速やかに修繕を実施することができた。事故を未然に防ぐ体制ができている。	A	・校長先生のリーダーシップの下、しっかり取り組んでいると推察する。 ・校長を中心に特に災害対応についてはよく取り組んでいると感じる。この項目も教員の「C・D」評価が気になった。 ・花壇の花の盗難など校門の開閉管理を整えた方がよい。 ・いじめ問題に気づく対策など教えてほしい。
基礎学力の定着	3	児童生徒は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。	B	・基礎基本の確実な定着と学ぶ意欲を高める工夫を実践することができた。 ・学習指導要領に基づいた指導を教科内で共有し、効果的な指導を行うことができた。今後は深い学びに向けての指導方法の改善に努める。	B	・本人、家庭の問題も大きいですが、学年が上がると遅れてしまう子もいる。個別指導など、できる範囲で対策できるとよい。 ・県や市平均よりも高い学力を保っており、先生方の努力に敬意を表します。
	4	学校は、学力向上をめざし、児童生徒の実態に基づいて授業改善に努めている。	B	・埼玉県学力・学習状況調査など結果に基づいて生徒の実態に応じた学力向上プランを策定し、生徒の興味関心を引き出す授業づくりや改善を行い、成果を得ることができた。	B	・県や市平均よりも高い学力を保っており、先生方の努力に敬意を表します。 ・県学調3年生の英語の伸びが気になった。小学校でも外国語好きになるよう努めていきたい。
規律ある態度の育成	5	児童生徒は、生活のルールに基づき、発達段階に応じた「規律ある態度」を身に付けている。	B	・生徒が主体となり「学校のきまり」の見直しや削減を行った。 ・生徒が自治的・自律的に学校生活を築いていく規範意識が高まってきていた。	A	・生徒の回答からも成果が上がっていると推察する。 ・大変落ち着いたよい学校である。あいさつも素晴らしい。 ・あいさつをきちんとできる生徒ばかりで、感心しています。
	6	学校は、児童生徒の実態把握に基づき、規律ある態度の指導の工夫・改善に努めている。	B	・生徒が自ら判断し行動していくような「規律ある態度」の育成に向けた指導を実践することができた。 ・生徒が自ら試行錯誤し、判断、実践できるような指導について、さらに研修を深めていく。	A	・現代に合った校則の改正。 ・大変落ち着いたよい学校である。あいさつも素晴らしい。 ・多様性が尊重される中、学校は生徒に寄り添いながら指導の工夫改善に取り組んでいると推察する。
健康・体力向上	7	児童生徒は、体育の授業や運動部活動、外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。	A	・保健体育の授業では、生徒が自ら考え体力や技術を高めしていく授業を展開し、意欲的に運動に取り組ませることができた。	A	・教職員及び生徒の回答からも大変意欲的に取り組んでいると推察する。
	8	学校は、児童生徒の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。	B	・保健体育科部会の中で指導方法等について常に情報を共有し、生徒が自ら考え行動できるよう随時指導方法の改善を行った。 ・体力テストの結果等を分析し、指導力向上や授業の改善に生かしていく。	A	・小学校でもここが大きな課題である。 ・コロナ禍以降、体力が低下傾向にある学校も多いようだが、朝霞四中では様々な工夫をしていると推察する。
連携	9	学校は、保護者や地域と連携し、その教育力を学力や体力の向上に生かしている。	B	・学校だよりや保護者案内についてtatoruでの配信を徹底したことで、保護者との情報共有が高まり、学校の負担も軽減された。 ・ふれあいまつりは約3000名の来場があり、学校・保護者・地域の連携を深めることができた。	B	・地域交流などに積極的に参加し、生徒の力を伸ばしていると推察する。 ・ホームページで令和6年のものが何点かある。「いじめ防止基本方針」も見当たらない。
	10	保護者や地域は、学校と協力し合い、児童生徒の安全指導・健全育成を推進している。	B	・保護者や地域の協力を得て、学期ごとに校外パトロールを行った。 ・あいさつ運動や通学路安全点検についても保護者や地域の協力を得ながら実施し、情報収集に努めた。	B	・保護者や地域は時として学校と利害関係が一致しないケースもあるが、ABで9割を占めておりよく取り組んでいるのではないかと推察する。

注:「自己評価」及び「関係者評価」の欄はA～Dで記入

Aは4点、Bは3点、Cは2点、Dは1点で換算した平均値から、A:3.4以上、B:2.6以上、C:2.0以上、D:2.0未満